



那覇市ゼロカーボンシティ宣言

私たちが暮らす沖縄県は、亜熱帯・海洋性気候の下、本土とは異なる固有の自然環境や生態系を有し、その県都である那覇市は、政治・経済・文化の中心に位置しております。

琉球王国として栄える以前から、先人たちは、自然と共に生き、五穀豊穡を願う祭事などを通し自然を崇め、今ではその多くが伝統芸能・文化として、大切に育まれてきております。

一方、近年では気候変動により、世界的に深刻な自然災害が多発し、本市においても豪雨や大型台風による被害が発生するなど、市民生活に大きな影響を及ぼしています。

このような中、我が国においては、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、省エネルギー対策の推進や再生可能エネルギーの導入など、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進しております。

本市においても、今まで以上に強い危機感を持って地球温暖化対策に取り組み、先人たちから受け継いだ自然豊かな環境を、未来を担う子どもたちへ引き継いでいかなければなりません。

そこで、本市としても、市民、事業者の皆様と協働し、できることを一つひとつ積み重ね、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向け全力で取り組むことを、ここに宣言いたします。

令和 6(2024)年 1月 31日

那覇市長 知念 寛

